

発行所: 株式会社じほう www.jiho.co.jp

本社/〒101-8421東京都千代田区猿樂町1-5-15

支局/〒541-0044大阪市中央区伏見町2-1-1

© じほう2016

企業

インテリム、がん領域でセミナー事業

治験受託の差別化へ

オンコロジー領域を中心に事業展開するCROのインテリム(大阪市、浮田哲州社長)は、製薬企業のオンコロジー関係者を対象としたセミナー事業をスタートさせる。今年のASCO(米国臨床腫瘍学会)閉幕直後の6月18日に第1回を開き、その後、2~3カ月の間隔で開催していく。同社は、がん領域での研修ノウハウやコンサルティング機能をアピールすることで、受託につなげる独自戦略を深化させている。

「インテリム・オンコロジーセミナー」は「絶対知っておきたいがん薬物療法の実態」との副題を付け、製薬企業のCRA、MSL、MRを対象に、従来の学会やがん腫別診療ガイドライン、各種の教科書などでは入手できない臨床現場の情報を軸に伝えるという。▽臨床で専門医が行っているがん薬物療法の治療効果や、副作用の判断と治療の進め方に関する臨床症例に基づく解説▽専門医との詳細で具体的なディスカッションを通じた情報の提供—が主な内容で、例えば治療効果判定では、ガイドラインと実臨床のギャップの実態が、副作用に関しては「そのときの臨床医の思考回路」などがテーマとなる。

初回は6月18日(土)午前10時から。同社顧問の西條長宏氏(日本臨床腫瘍学会元理事長)の司会で、国立がん研究センター中央病院の渡辺裕一氏が「治療効果判定の現場から」を、神奈川県立循環器呼吸器病センターの加藤晃史氏が「新しい抗がん剤による副作用」をテーマに講演する。会場はインテリム東京支社セミナールームを予定するが、参加者が想定を超える場合には別会場を用意する。セミナー詳細は4月1日から同社ホームページで案内する。

同社の浮田社長は日刊薬業に、同社が開発したがん腫別専門研修のeラーニング教材や、営業担当者を対象とするマーケティングコンサルテーションの導入企業が具体化し始めたことを明らかにし、「セミナーもそれらのビジネスとのリンクが目的。製薬企業の学術部門がCROにシフトできるような体制づくりを通じて、治験受託の質的差別化につなげたい」と述べた。